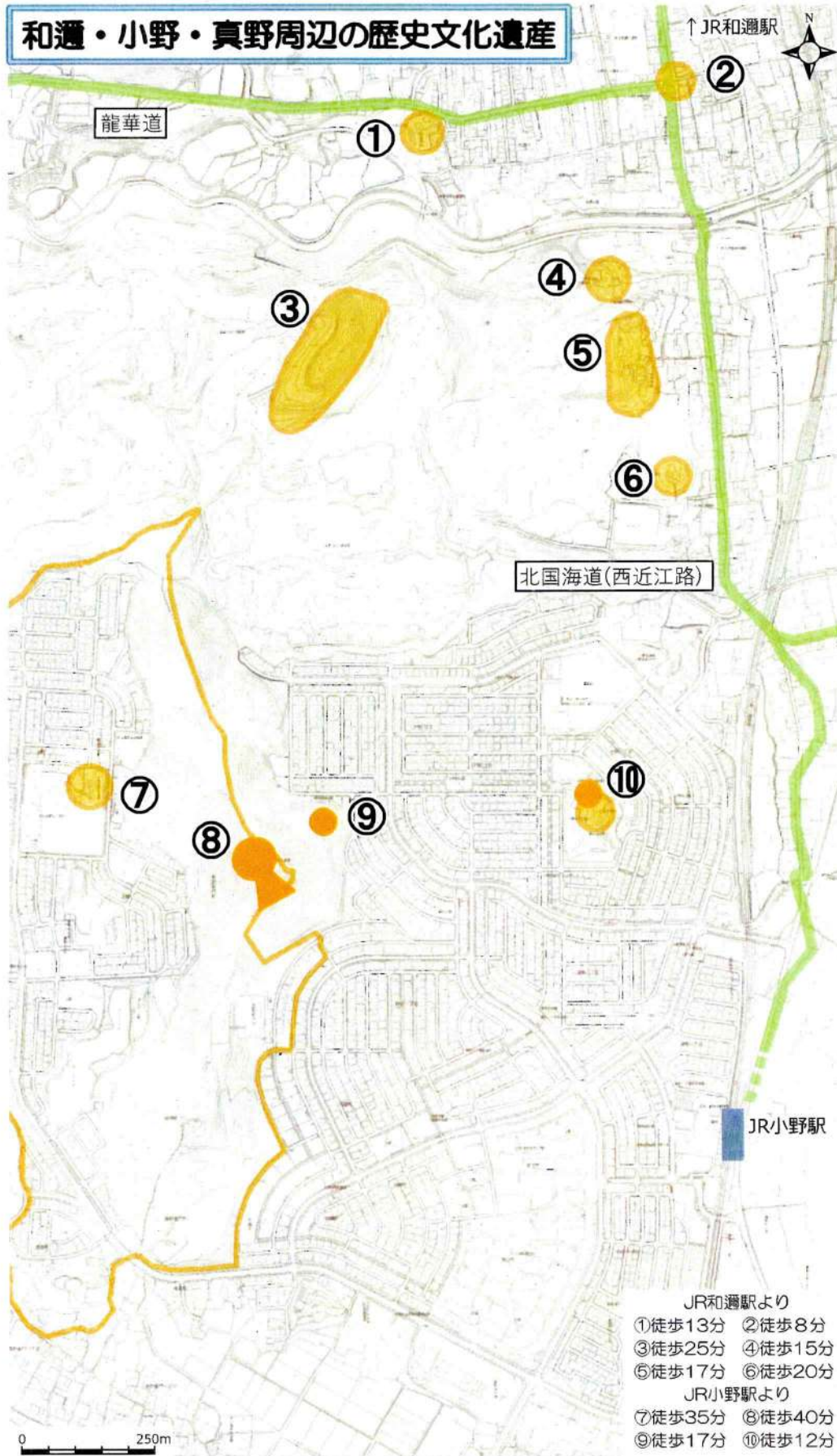


和邇・小野・真野周辺の歴史文化遺産



① 天皇神社

中世、和邇庄の鎮守社として造立され、「牛頭天王社」と称したが、明治時代に今の社名となる。和邇中・今宿・高城・南浜・中浜・北浜の氏神。本殿は全国的にも珍しい切妻造平入で、鎌倉時代の建立で重要文化財。

② 榎の顕彰碑(一里塚跡)

北国海道(西近江路)と龍華道の交差点にかつて榎が植えられていた。北国海道の一里塚として植えられていたと伝える。龍華道を西へまっすぐ進むと天皇神社に当たることから同社の神木ともいわれる。

③ 石釜古墳群

総数 14 基からなる古墳時代後期の古墳群。そのほとんどは、尾根頂部に立地する。一部に横穴式石室が残る。

④ 小野神社・小野篁神社

古代の豪族、小野氏の故地とされ、小野神社の祭神、天足彦国押人命・米餅搦大使主命は小野氏の祖にあたる。米餅搦大使主命は、お菓子の神様としても信仰されている。小野篁神社本殿は切妻造平入で、室町時代前期に建立された(重要文化財)。

⑤ 石神古墳群

古墳時代後期の 6 世紀後半から 7 世紀前半の 4 基の円墳からなる古墳群。石神神社には、家形石棺の石材が残る。

⑥ 小野道風神社・道風神社古墳群

小野神社の飛地境内で、祭神は小野道風。平安時代の貴族で能書家として知られ「三蹟」の一人に数えられる。本殿は、切妻造平入で、南北朝時代の暦応 4 年(1341)建立(重要文化財)。境内裏山には、5 世紀末から 6 世紀にかけての古墳が築造されている。

⑩ 唐白山古墳・小野妹子神社

小野妹子の墓とされる古墳。墳丘が崩れて石室の石材が露出する。隣接する小野妹子神社は遣隋使小野妹子を祀る。

JR和邇駅より

- ① 徒歩13分 ② 徒歩8分
- ③ 徒歩25分 ④ 徒歩15分
- ⑤ 徒歩17分 ⑥ 徒歩20分

JR小野駅より

- ⑦ 徒歩35分 ⑧ 徒歩40分
- ⑨ 徒歩17分 ⑩ 徒歩12分

⑦ 曼陀羅山古墳群

曼陀羅山の尾根上を中心に広がる古墳群で約 120 基あるとされる。真野北古墳公園には石室が保存されている。

⑧ 和邇大塚山古墳

曼陀羅山に所在する全長約 72m の前方後円墳。4 世紀後半～5 世紀初頭ごろに造営されたものと推定される。

⑨ ゼニワラ古墳

6 世紀後半の円墳。石室は、曼陀羅山古墳群の中でも最大規模。埋葬者はこの地域の最有力の豪族と推定。